

社会保障の安定財源の確保等を図る税制抜本改革法案の国会提出  
及び国会提出に伴う今後の対応について

(平成24年3月30日(金) 閣議 内閣総理大臣発言要旨)

1. 社会保障の安定財源の確保等を図る税制抜本改革法案については、党における精力的な議論を経て、本日、国会提出できることとなった。引き続き、政府・与党が一丸となって、一体改革に加え、経済再生、政治改革・行政改革も包括的に進めていく必要があるので、関係閣僚におかれても、改革の実現に向け全力を挙げていただくようお願いしたい。
2. 特に、本日閣議決定した「検討課題に対する法案提出後の対応の方向性」については、政府部内はもとより、党ともよく連携・協力をして、検討を進め、国民の理解と納得を得ることが重要と考えている。

